

第2回草津市地球温暖化対策実行計画(第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト)専門部会  
(R6.5.17 開催)での主な意見および回答・対応方針

No	意見、指摘事項	回答・対応方針
●全体目標(案)について		
1	<p>積み上げができない以上、<u>按分で目標せざるを得ない</u>。その目標に向かって取り組んでいく一つ一つの施策に草津市独自の考え方を反映できるのではないか。</p> <p><u>積み上げの取組が無いとモチベーションは上がらない</u>。</p> <p>積み上げられるものを具体的な施策の中の目標に据えて、市民や企業がその目標に向かって励めば良い。</p>	—
2	<p><u>具体的で分かり易いものにしないと間延びするため焦点を絞った施策や目標を提案すべき</u>。</p> <p>家庭部門であればLED化に市の補助金をつけて取り組むなど市民にわかりやすく、自分たちの行動がCO2削減に繋がっていることが伝わる施策であれば、電気料金が減るといふ相乗効果と相まって、取組が広がる。</p>	<p>国のエネルギー基本計画についても3年ごとに見直しているため、市の次期計画についても、市民にわかりやすい取組で開始したうえで、時点修正や中間見直しをしていく。</p> <p>今回は、目標の全体像と施策の方向性を示したが、御指摘のとおり焦点を絞らないと、「50%削減目標は理解したが、私たち市民や市内事業者は何をすれば良いか」となり見通しが立たなくなると認識している。</p>
●進捗管理について		
3	<p>市民の方々に計画内容をどう伝えるのが非常に大事。<u>中間見直しも必要</u>。加えて、実際に計画を動かした際に<u>PDCA</u>をどのようにまわすのか、それを市民の方々にどのように報告していくのか知恵を出さなければならない。</p>	<p>PDCAについては、削減目標50%を明記する以上、必然的に、毎年、その目標に対して実績がどうなっているのか、環境審議会などで報告し検証が必要と考えている。また、各進捗管理指標に基づき、一部の取組についてはCO2削減量も「見える化」して評価していくと提案しており、毎年その取組についても報告・検証し、必要に応じて、2年や3年ごとに計画の中身を見直しが必要と認識している</p>
●取組項目について		
4	<p>実際に動いてほしいのは市民1人ひとりであり、<u>一個人の行動をどのように変えていくのがポイント</u>。市が方向性をきちんと伝えていくのが<u>重要</u>。</p> <p>照明のLED化など、具体的な施策を次期計画に入れ込む方が、より市民にわかりやすく結果も分かりやすい。</p>	<p>市民の皆様への目標の伝え方や計画での表記方法について工夫を重ねていく。</p>

5	<p>市民の方に具体的な行動に移していただくには、<u>分かり易く中身が確認できるものではない</u>。</p> <p>按分での評価部分と積み上げでの評価部分は、本来どこかで繋がっているところもあると思うが、<u>比較できないのであれば、市民が一つひとつ積み上げて削減していく部分を強調し、「ここだけは確実に草津市として減らしていきますましよう」、「市民としてはこれを頑張りましよう」と訴えかけていく方法がある。</u></p>	<p>按分で評価する全体の削減実績とは別に、草津市として取り組み、積み上げで実績を評価する部分を強調し、「市民や市内事業者の努力によりこれだけ減らせています」ということがわかる表現方法を工夫していく。</p>
6	<p>草津市は急速にベッドタウンとして発展した街で、マンションもかなり多い。</p> <p>具体策の中で、例えば断熱対策や電気自動車（EV）を利用する取組は、<u>集合住宅居住者にも需要があるのではないか</u>。集合住宅では個人で電気自動車の電源を確保しにくいいため、市が住民とマンション管理会社との間を取り持って電源を確保しやすいような仕組みづくりができないか。</p>	<p>マンション管理組合があり、マンション全体で断熱対策や電気自動車の充電器設置の合意形成を図っていただくのが難しい部分があり、検討が進んでいない。</p> <p>現在市で行っている、スマート・エコハウスの補助事業では、マンションの共用部分については補助をしているが、もう少し踏み込んだ取組について検討する。</p>
7	<p>草津市は、農業エリアもあり野菜等の生産も盛ん。具体策に「<u>地元の農産物を購入するよう心がけている市民の割合</u>」があるが、より分かりやすくするには、本当にどれだけ購入したか数値化できないか。輸送コストが全国平均より低ければ、<u>地産地消が進んでいることが「見える化」</u>できる。</p>	<p>現在行っている市民意識調査のアンケート結果で把握できるものを提案したが、地元野菜を取り扱っているレストランの数など、もう少しわかりやすく具体性のある指標も検討できると考える。</p>
8	<p>市民がどんどん参加できるような形の取組、例えば、<u>健幸都市宣言、ウォーカブルなまちづくり</u>に関して、スマートフォンのアプリで歩いた距離に応じてポイントが貰えて何か使える取組があるが、それを市として取り組み、ポイントは、市内の飲食店で使えるような仕組みを作れば、多くの市民が歩くことで参加できるようになるのではないか。</p>	<p>市で既に行っているエコ・アクション・ポイント事業では、現在かなり実績が伸びている。具体的な数字は次回お示しするが、市民と一緒に取り組めるものであり、まちづくりやウォーカブルな都市空間の形成とも絡めながら、他の様々なポイント制度との連携も考えられる。</p>
9	<p><u>現在の重点アクションであるエコ・アクション・ポイント事業は、他のポイント制度等と連携するなどさらに発展・充実させていくと、市民との接点が一気に広がり、市民にメリットが生まれ、行動変容への動機付けとなり、モチベーションを保つには一番良い。</u></p>	<p>—</p>
10	<p><u>防災対策は市民の方々が一番気になる点なので、防災と両立して脱炭素を進めていくという</u></p>	<p>レジリエンスの強化と脱炭素は切り離せないものであり、ここに予算もかけながら施策を展開</p>

	伝え方が重要ではないか。	することが、市民からの理解も得やすいことだと認識している。
1 1	本当にやりやすいもの、アピールしやすいものを拾っていただきたい。 <u>草津市らしさ、他の自治体でも考えることではなく、草津市だからという取組が1つぐらいあると、草津市民としてがんばろうという気持ちにもなる。</u>	—
1 2	<u>若者層に響くような項目も具体的に家庭部門に入れると良いのではないか。エコ・アクション・ポイントでポイント活動に繋げることも、若者としてはメリットとじてもらえる部分ではないかと考える。</u>	御提案の内容も踏まえ、若者層を意識した取組項目を検討する。
1 3	既存の家屋に対して、 <u>断熱リフォーム</u> が出来る補助があると良い。高齢者層はリフォームを考える時期に来ているので重要である。	御提案の内容を踏まえ、取組項目を検討する。
1 4	<u>うちエコ診断や省エネ診断</u> があまり活用されてない気がする。省エネ診断を行えば、CO2排出削減に繋がるだけでなく、企業の経済性の改善にも繋がっていく。積極的に診断制度などを活用することで、省エネだけではなく金銭的節約にもなるという見せ方も必要。	御提案の内容を踏まえ、取組項目を検討する。
1 5	リフォームも含めた住宅の <u>長寿命化や断熱対策の補助を受ける前の段階での相談件数を進捗管理指標</u> にすることができないか。	御提案の内容を踏まえ、進捗管理指標を検討する。
1 6	「 <u>地域の合意形成に基づく再生可能エネルギーを優先的に導入するエリアの設定</u> 」という項目があるが、具体的な見込みがあるのか。	国が「地域脱炭素促進事業」という形で、市町村の判断で再エネ導入を進めていくエリアを設定し、市町村の中で合意形成を図りながら進めていく制度を創設している。 地域脱炭素化促進事業については、新たに計画に含めていく事項となるので、今後の専門部会で重点的に議論したい。